

いしづえ

令和8年3月5日
第52号
発行人／早川幹夫
編集人／文化広報部
責任者／柳 浩之

新潟東支部強化講習会

令和8年1月26日 新潟東映ホテル

第1部 インバウンド対応セミナー

インバウンド需要の拡大を背景に、インバウンド対応セミナーが開催され、講師として鷲尾勉氏を迎えました。日本を訪れる外国人観光客は、今後4000万人に達すると見込まれており、理容業界においても外国人客への対応力が、今後の経営を左右する重要な要素の一つとなっています。

セミナーでは、実際に外国人客の来店が多い理容店の様子を収めたビデオを視聴しながら、現場での具体的な対応方法や接客の工夫について解説が行われました。また、インバウンド対応に積極的に取り組むこと

で来店数が増加し、売り上げ向上につながった事例も紹介され、参加者は実践的な内容に熱心に耳を傾けていました。



外国人対応で特に重要なポイントとして挙げられたのが、「難しい英語を使わないこと」です。文法的に正しい英語や丁寧すぎる表現は、か

えって外国人には伝わりにくい場合が多く、短く、分かりやすい英語を使うことが大切だと説明されました。単語を中心にした簡潔な表現の方が、意思疎通がスムーズに行えるとのこと。この説明により、外国人対応は難しく考えすぎる必要はなく、工夫次第で十分に対応可能であることが伝えられました。

また、外国人客のヘアスタイルの傾向としては、フェードスタイルを希望する割合が非常に高い点が紹介されました。以前、全理連が配布したテキストを参考にすることや、写真や画像を使ってスタイルを確認することで、言葉の壁を越えてイメージを共有しやすくなります。

◆単語を中心にした簡潔な表現の例

- ・「What would you like?」（いかがなさいますか）を「Haircut?」
- ・「Do you have a reservation?」（予約はしていますか）を「Busy now?」
- ・「The next available slot would be 11:00 AM」（次に空いている枠は11時ですね）を「Next slot is 11 AM」

仕上りの確認や微調整の際も、「OK?」「Yes or No?」など、答えやすい聞き方を心がけることで、外国人客の不安を軽減できるとのアドバイスがありました。

さらに、外国人客は日本の理容技術の高さを「日本旅行の特別な体験の一つ」として捉えており、高度なカット技術だけでなく、シェービングやフェイシャルマッサージといった、きめ細やかなサービスにも大きな感銘を受けていることが紹介されました。こうした付加価値の高いサービスは、理容業ならではの強みであり、インバウンド対応において大きな武器になると強調されました。

今後もインバウンド需要は継続的に増加することが予想される中、外国人客への対応力を高めることは、店舗の収益向上だけでなく、理容業界全体の価値を高めることにもつながります。今回のセミナーは、インバウンド時代に対応するための具体的なヒントが多く示され、非常に有意義な講習となりました。



より続き

新潟東支部強化講習会

令和8年1月26日

新潟東映ホテル

第2部 ゲートキーパーセミナー

柳 則夫

理容組合においてゲートキーパーの取り組みを始めてから、約10年が経過しました。

新潟薬科大学教授・南雲陽子先生の講義を通じ、心の健康について学ぶ機会をいただき、その後の新型コロナウイルス感染症のパンデミックは、人々の心身の不調が顕在化する時代でもありました。

免疫力って何？から、ストレス、自律神経のこと脳内物質のこと腸内環境の重要性、さらには幸せの意味などを私なりに深掘りするようになりました。

これらの学びはすべて、理容師が担うゲートキーパーとしての役割へと一本につながっています。さらに、言葉の力や思いやり、感謝の心の大切さを伝える機会を得る中で、理美容師の存在意義をあらためて見つめ直すこととなりました。

日本の理美容業界は、家族経営や小規模サロンが大半を占める

「個」が尊重される業界です。多くの理美容師が目指す最終的な姿は、「自分を選んでくれたお客様一人ひとりと向き合い、共に歳を重ねていくこと」ではないでしょうか。そのために必要なのは「心・技・体」。技術と健康に加え、すべての方向性を決める「心」を磨くことこそが、理美容師として長く歩み続けるための礎だと10年ゲートキーパーに携わった思いを語っていました。



新潟地区協議会経営講習会 「生衛業収益力向上セミナー」

9月22日午前10時より、新潟東映ホテルにおいて、新潟地区協議会経営講習会「生衛業収益力向上セミナー」が開催されました。今回は、全理連中央講師の木村有貴先生をお迎えし、「レディース

シェービング&エステの技術とお客様へのアプローチ」をテーマに、実技を交えた実践的なセミナーが行われました。

セミナーでは、木村先生が提案するフェイスイシュービングの技術が披露され、お客様の呼吸に合わせつつくりとリンパに働きかけるフェイストリートメントを施し、デリケートな肌状態を丁寧に整えてからシェービングを行う工程が紹介されました。この施術により、血流やリンパの流れの促進、むくみやくすみの解消、肌の弾力や透明感の向上、毛穴ケアなど、さまざまな美容効果が期待できるとの説明があり、受講者は熱心に耳を傾けていました。

また、技術面だけでなく、施術中の所作の大切さについても強調され、タオルを肩にかけるといった基本的な動作一つひとつを、いかに丁寧に、そして美しく見せるかという点が非常に印象的でした。細やかな心配りや立ち居振る舞いが、お客様の安心感や満足度につながることを、改めて実感する内容となりました。

近年、理容室においてレディースシェービングを目的に来店されるお客様が増えていることもあり、

今回のセミナーは非常に関心が高く、多くの理容関係者が受講されました。参加者からは、「すぐにサロンで取り入れたい」「お客様への提案方法が具体的で分かりやすかった」といった声も聞かれ、実務に直結する有意義な講習会となりました。

レディースシェービングを積極的にお客様へアプローチし、付加価値の高い技術とサービスを提供していくことは、今後の理容業界の収益力向上に大きくつながります。今回のセミナーで得た学びを生かし、理容の魅力をさらに高め、「理容をもっと儲かる業界へ」と発展させていきたいものです。





第29回県カラオケ大会

令和7年11月10日

第29回県カラオケ大会が、11月10日、新潟東映ホテルにて開催されました。会場には出場者の熱気と応援の音が響き渡り、終始和やかでありながらも、真剣勝負のステージが繰り広げられました。

東支部からは、斉田さん、小倉さん、小林さんの3名が出場し、それぞれが個性あふれるパフォーマンスを披露しました。

斉田さんは、勝彩也の「恋あざみ」を熱唱。情感豊かな歌声で、サビにかけての抑揚を大切にしながら表現が印象的で、切なさの中にも力強さを感じさせる歌唱で聴く人を惹きつけました。

小倉さんは、堀内孝雄の「影法師」を披露。落ち着いた声質を生かし、静と動のコントラストを意識した抑制の効いた歌い回しで、歌詞一つひとつを丁寧に届ける大人の歌唱が光りました。

小林さんは、椎名佐千子の「漁火街道」を情緒たつぷりに表現。伸びやかな高音と安定したリズム感で、哀愁漂う世界観を見事に描き出し、会場を物語の中へ引き込むような歌唱でした。

今年も演歌から歌謡曲まで幅広いジャンルの楽曲がエントリーされ、それぞれの個性や表現力を存分に楽しめる大会となりました。さらに、今年からは採点にA-Iが導入され、音程やリズム、表現力などを総合的に判断することで、より公平で客観的なジャッジが行われました。

大会結果は以下の通りです。

- 第1位 浅井久美さん（新津支部）
- 第2位 布施雅子さん（柏崎支部）
- 第3位 山田秀和さん（三島郡支部）



消費者無料体験事業

令和7年10月13日

理容の魅力を発信

無料体験イベントを開催

新潟ふるさと村会場内には、エステシービング、子どもシャンプー、頭皮・育毛相談、ネイルやハンドマッサージ体験など、理容業の幅広いサービスが体験できる無料コーナーが設けられ、家族連れや若い世代を中心に多くの方が参加しました。理容室の役割や魅力を身近に感じてもらえる機会となり、業界のイメージ向上にもつながるイベントとなりました。

また、理容学校の生徒たちも参加し、一般来場者に対して技術の紹介や実演を行いました。現場で直接お客様と触れ合う経験は、生徒にとって将来を見据えた貴重な学びの場となり、理容業の後継者育成という観点からも大きな意義のある取り組みとなりました。



↑
へ続く

新潟東支部訪問理容サービス登録店舗

新潟東支部のホームページから、新潟東支部訪問理容サービス登録店舗が“グーグル・マップ”上で確認が出来るようになりました。



https://riyohigashi.com/html/visiting_barber.html



より続き

消費者無料体験事業

本事業には東支部から、県講師の柳則夫氏、鷲尾勉氏、菅原和也氏の3名が参加し、各体験コーナーの運営や来場者対応にあたりました。支部会員が一体となってイベントを支えることで、地域に根ざした理容業の姿勢を発信するとともに、次世代へ技術と想いをつなぐ場となりました。

当日の体験者数は、頭皮・育毛相談および子どもシャンプーが24名、ネイル・ハンドマッサージが32名、エステシェービングが23名となり、いずれのコーナーも高い関心を集めました。

今回の無料体験イベントを通じて、理容の多様な可能性を広く発信するとともに、将来を担う人材育成への意識を高める機会となり今後の業界発展につながることを期待されます。



支部カラオケ大会

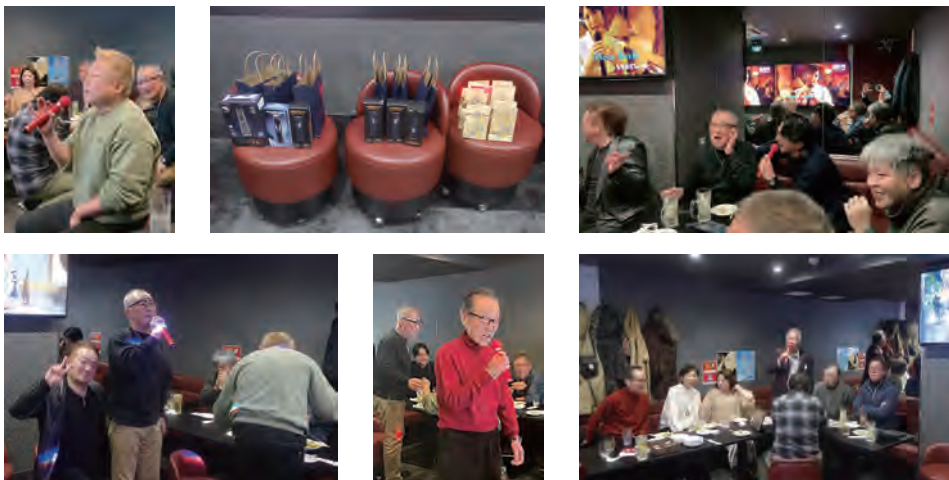
令和8年1月26日

今年の支部カラオケ大会は、昨年に引き続きカラオケボックスで開催されました。開始早々からマイクが途切れることなく回り、会場は一気にヒートアップ。定番イベントとは思えないほどの盛り上がりを見せました。

会費は3500円。フリードリンクと軽い軽食付きというお得感は今年も健在で、「この内容でこの会費はありがたい」との声も聞かれました。選曲は次から次へと入り、熱唱拍手、笑い声が絶えない時間が続きました。

途中で行われたビンゴゲームでは、参加者の予想を軽々と超える景品が登場。フェードカットにも使える本格仕様のバリカンやトリマーなど、「本当にこの予算で？」と思わず二度見してしまうラインナップに、会場はざわつき気味に。どうやら今年も、厚生部長の「謎の調達力」が存分に発揮されたようです。景品発表のたびに歓声と笑いが起こり、ビンゴゲームは一段と盛り上がりました。盛り上がりは収まる気配を見せず、当初予定していた3時間はあっさり終了。そこからまさかの2時間延長となり、最終的には計5時間という

もはや大会というより耐久イベントの様相を呈しました。それでも途中で帰る人はほとんどおらず、最後まで元気に歌い切った参加者の熱量には驚かされました。こうして、笑いと驚きにあふれた今年の支部カラオケ大会は、大盛況のうちに幕を閉じました。来年はどんな展開になるのか、今から楽しみです。



福祉担当部からお知らせ

出張理容の際、利用者様から提示された黄色い券の期間が過ぎている物がたまに有ります。過ぎた券だと換金出来ませんので、よく確認して受け取って下さい。よろしくお願い致します。

◆定期総会のご案内

- ・日程：令和8年4月13日(月)
- ・会場：新潟東映ホテル

編集後記

今年の冬は本当に雪が多く、寒さも厳しい毎日でした。年齢のせいか、年々寒さが身にこたえるようになり、朝の除雪もなかなか大変です。若い頃のようにさっと体が動かず、「こんなに疲れたかな」と思うことも増えました。それでも、真っ白な景色を見ていると少し気持ちが落ち着きます。

もう少し頑張れば春が来るはず。暖かい日差しの中で、ほっと一息つける日を楽しみにしたいと思います。

柳 浩之（文化広報部長）